いっしょに夢づくり　宮前区観光協会

宮前の風

第2号
2010.4

人が好き
緑が好き
まちが好き

発行：宮前区観光協会　編集・作成：宮前区観光情報取材記者
事務局：宮前区役所地域振興課（塩田）
ＴＥＬ．０４４－８５６－３１３５　http://www.miyamae-kankou.net

サッカーボールを追う！ 元気に駆ける園児たち。 学校法人　安藤学園　さぎぬま幼稚園

《火曜日練習グループの園児の顔、顔》

さぎぬま幼稚園（安藤　直園長・宮前区小台1-12-16）は、昭和51年に開園、現在320人の園児が保護者と徒歩通園をしている。

35年前の秋、「おゆうぎ」、「おままごと」では満足できない子集まれ！！と呼びかけてサッカーが始まった。

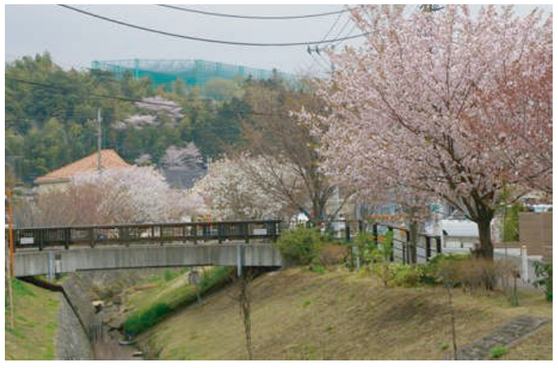
過去に全日本幼稚園サッカー大会で3位、小学6年生までの卒業生で編成している「さぎぬまサッカークラブ」は、小学生4年の部で優勝、川崎市松村杯６年生の部では７年連続優勝など数々の輝かしい実績がある。このクラブからの卒業生には現役のＪリーガー、世界のフットサルでの活躍やインターハイ、インカレなどサッカー以外のスポーツでも輝かしい実績を収めている。

《練習を終えてコーチに笑顔であいさつ》

《チームに分かれて試合形式の練習風景》

練習日に伺うと、年長組男女の園児たちがユニフォーム姿で、ドリブルやシュート練習をしている。懸命にボールを追う姿、ゴールを決めた瞬間のガッツポーズや額に光る汗、満面な笑顔などその全てに感動が湧いてくる。当園を卒業した大学生が学業の合間にコーチとして後輩の指導をしている。やさしく見守るその姿はすがすがしく、輝いていた。父母の方々や卒業生など多くの人々の協力と強い絆に支えられている「サッカー」そんな思いを感じた。　（青柳和美記）

花便り



「平瀬川のさくら」
場所：菅生４丁目　親水橋付近
　　蔵敷バス停から徒歩3分位
撮影：阿部成彦さん

「御衣黄（ぎょいこう）、太白（たいはく）、奈良八重桜、突羽根（つくばね）、妹背（いもせ）」等、ひとつひとつ名前と由来を書いた看板が立ててあるので読みながら散歩するのも楽しいですよ。

満開のさくらの木の下、清酒「宮前」でちょっと一杯、浮かれ気分でもう一杯・・・・。
（渡辺寛美記）

花言葉は、花言葉「精神美」「純正」

観光協会特約店②『チーズ＆プリン工房』

左・やまるあいりのチーズロール
右上・神木とろーりプリン
右下・チーズコラーゲンプリン

「チーズ＆プリン工房」は洋菓子専門の工房です。ご夫婦二人で運営しています。創業は５年前で、最初は専ら洋菓子店舗からの注文で製造していました。2005年にプリンが「かわさき名産品」に認定されたこともあり、工房に個人のお客様がお求めにお見えになるようになったことから、小売りもはじめるようになりました。

工房では、アイデアマンのご主人が、オリジナルの洋菓子のレシピの創作に余念なく、色々とレシピを創作しています。2点の創作レシピを次に紹介しましょう。

お孫さんの誕生を記念して創作したロール系のチーズケーキが「やまるあいりのチーズロール」で、2009年に「かわさき名産品」に認定されました。レシピ名にはお孫さんの名前「あいり」が入っています。

「チーズコラーゲンプリン」も当工房が創作したレシピです。普通のプリンは玉子・牛乳・砂糖・生クリームですが、工房特製のこのプリンは玉子の代わりにチーズを、そしてコラーゲンをたっぷり入れてつくられています。お肌が艶々すると、女性に人気のプリンです。

県内そして東京都内の洋菓子店舗からの注文があり、また口コミで伝わって工房にお見えになるお客様も多いが、「チーズ＆プリン工房」では大量生産はしないで、品数を少なく絞り、手作りにこだわり、心を込めた洋菓子作りをモットーに努めていました。　（坪井喬記）

取材記者のおすすめのお店

喫茶室『けやきの森』

本格的深煎りコーヒーで美味しい！と評判のコーヒーは横浜障がい者施設「珈琲工場」から豆を仕入れてます。季節、気温に合わせてブレンドして貰っています。

美味しいコーヒーと一緒にバウンドケーキ、くるみクッキーも召し上がれます。

店内で販売している秋田県鹿角市生産りんごジュース（農林大臣賞受賞）もお勧めです。関東ではけやきの里でしか販売していないそうです。

★営業時間：　１０：３０～１６：００（平日のみ営業）
等覚院（つつじ寺）、高根森林公園の近くです。
散歩の途中にでも是非お立ち寄りください。（渡辺寛美記）

小泉農園「わがままいちご」

えっ！！
宮前区でいちご狩りが
できるの！！

開園時間：10:30～15:30
制限時間：30分食べ放題
料　　金：（３歳から大人）1.500円
　　（２歳までの乳幼児無料）
期　　間：３月～５月
＊定休日：月曜・木曜（祝祭日営業）
＊完全予約制

場所：　東急コーチ
「グリーンハイツ東」下車徒歩5分位
４月・５月分の予約　３月28日 朝0:00開始
ご予約電話　080-6532-5306（10:00～15:00）
メールアドレスinfo@hkmint.net

募集 おたより

宮前区で気になる話題や宝物などの情報がありましたら、ご連絡ください。また、会員・特約店も募集中です。

みんなで楽しい紙面にしていきましょう！！

つながるみやまえ
宮前区観光協会ホームページ
http://www.miyamae-kankou.net

もすな田出まをカ冬こ含べにしが（の産漂せびい（材発るの跡六▼**編**
の °が栄場幼待で季まめいすぶ来青宮がうる込る坪で展宮軌の十持**集**
でもら二し稚つ開五でてさるりた柳前一 °とんと井知の前跡発余田**後**
すっ知）て園ば催輪す）ん？！ 、和の杯宮ほで 、喬）り歴区は掘年春**記**
°とら▼ほのかさも °°が °°ど美風だ前んき満）、史とま・に吉
（目な宮しちりれ終 ）（多 ー今こ ）を！にのた開▼感そた調わさ
（高をい前いびでるわ（取い宮年に▼肌もはり °の区銘もの 、査たん
橋向こ区でっすサり渡材の前のー春でっ自と思白内を受あ周そ・るの
弘けとにす子がッ 、辺先か区花来が感と然しわ梅を るこ辺の研遺
幸てが住ねも 、カ南寛で：に見た来じた豊たずが散 の間究
）み多ん °いさーア美の（はは °たたくか香顔目策 開に
たいで（つぎWフ）ひ私飲何 ┐、いさなりをにし 発お
いでい塩かぬ杯リ▼ともん時久春 °ん財が寄飛て取とけ

宮前区の歴史

川崎考古学研究所
宮前区有馬

川崎考古学研究所を訪ねて（その１）

古代において、宮前区とその周辺の人々はどのように暮らしていたのか?川崎考古学研究所（宮前区有馬）を訪ね、同研究所所長の持田春吉さんに、古代の人々の暮らしぶりについてお話を伺いました。

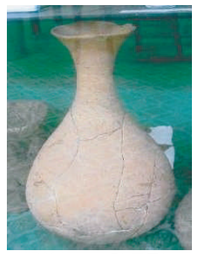
《発掘品収納の陳列棚を背にする持田春吉さん》

川崎考古学研究所は、持田春吉さんが昭和54年に私費を投じて創設した。研究所内の壁には隙間なく設置されるガラス戸のついた陳列棚には、夥しい様々な土器、鏃や斧などの石器、勾玉などの各種の首飾りなどが発掘場所毎に整理されて展示されている。それらの出土場所は、鷺沼遺跡、津田山や久地周辺の横穴式古墳、長尾妙薬寺周辺、有馬の中世墳墓、下作延昌安寺台遺跡、緑ケ丘霊園内遺跡、梶ケ谷神明社や野川神明社周辺等々である。陳列品にはそれら出土場所がキメ細かく明示されている。又、陳列棚の上には、遺跡を発掘・調査時の状況写真が掲示されている。

川崎考古学研究所の創設の意図について持田さんは、「それまで発掘品は箱などに保管していましたが、夥しい数になり、整理して多くの方々に見ていただくため」と語る。古代遺跡の発掘と出土品の研究を持田さんは、「昭和23年から、農業を営む傍ら20代の頃から、もうかれこれ60年くらい発掘・調査・研究を続けている」と言う。

市井の考古学研究者になった契機について持田さんは、「戦地から復員し、食糧増産の国策に沿って未開地を開墾、額に汗して畑地に変えていきました。その隣接開墾地が後に鷺沼遺跡と呼ばれるようになったところで、当時、その未開墾地の笹藪には土器片が無数に散乱していて、ほぼ完全な形に近い土器などが発見され、これが発掘・調査に勤しむ契機となりました」と述べる。持田さんはたった一人で発掘、調査を進めてきた訳ではない。持田さんは言う、「戦後は戦前の抑圧から解放され、生活様式が一変し、とりわけ若者は、戦前への反動を一気に爆発させて快楽を貪りましたが、そういう時代の風潮に染まらず、しっかりと生きていこうとする何人かの集まりが生まれ、その中に考古学に憑かれた人が私以外にもいました。そうこうする内に高津図書館友の会が発足、同会の郷土史研究部の仲間、少人数でしたが考古学の同好の士がいましたので、彼らと共に発掘・調査・研究を進めました。同好の私達は、発掘した土器片、石器の分類やその用途などを、参考書によって知識を積み重ね、また考古学者を訪ねて教えを受けたりしました」と。

以下、持田さんの話―。昭和20年代は多摩丘陵は未だ開発の手が入らず、自然の地形がそのまま残されていた。昭和30年代に入ると、都市化を前提とする開発が始まり、電車敷設の構想に伴い、施行計画の沿線となる各地区の大開発によって大きく変わっていった。その過程で、記録や保存が出来ない内に、失われた遺跡が数多くあった。持田さん達考古学同好の方々は、少しでも多く、遺跡が失われる前に発掘・調査に努めようと、昭和32年頃から津田山、久地周辺の6世紀後半の横穴式古墳の調査をはじめ、長尾妙薬寺周辺の調査、有馬の中世墳墓、下作延昌安寺台遺跡、緑ケ丘霊園内遺跡等々の発掘・調査を手がけた。



《優美な壷（発掘品）》

昭和40年代のはじめ頃までは未だ、そうした遺跡が至るところに残っていた。その頃から東急による田園都市化が大々的に展開され、飛躍的に宅地化が推進されて、古代の遺跡が一気に失われていった。その経緯について持田さんはしみじみと語る、「われわれ友の会の仲間達は、遺跡の保存か開発に伴う破壊かのはざまにあって思い悩むことも少なくなかった。ですが、市域内における開発に伴う事前の発掘・調査が増え、その調査に参加することにより、古代人の貴重な遺跡を直接目で見、手で触れる機会を得、古代の知識を多々、得ることができました」と。

今号では、川崎考古学研究所を取材して、宮前区とその周辺における古代人の遺跡の発掘・調査・研究と、戦後から今日に至る市域の開発、田園都市化とが深い関わりがあることを知る契機となったことを記した。遺跡の発掘・調査・研究から知る、宮前区と周辺の古代人の暮らしについては次号で紹介します。

（坪井喬記）

＊川崎考古学研究所の所在地：有馬9丁目5－18
＊見学の際には事前に連絡が必要　電話044-854-7621又は044-866-0515（持田さん宅）

宮前区観光協会特約店

中国料理
嗜唯呶（シード）
土橋7-1-3
TEL.856-0100

宮前平 源泉
湯けむりの庄
宮前平2-13-3
TEL.860-2641
http://www.yukemurinosato.com

駿河屋製菓（有）
お好み甘納豆
芋納糖
ココア甘納糖
野川544-12
TEL.766-7797

チーズ＆プリン工房
神木本町4-17-1
TEL 877-2823

あの人この人

匠の”技”かわさきマイスター（食品サンプル）田中司好さん

《かわさきマイスター田中司好社長》

飲食店の店先などで、本物と見分けがつかないくらい見事な出来栄えで陳列されている。見る人を楽しませ、食欲を誘う食品サンプル。

「有限会社つかさサンプル」代表取締役社長田中司好さんは、宮前区水沢で美術食品模型の製造、販売をしている。平成21年度のかわさきマイスターに認定された、匠の技の持ち主だ。

修業時代に培われた高度な技術、豊富な経験のなか1973年に多摩区で会社を設立し、1976年に現在の地移転しその後、社名変更をして高い技術力の商品を国内、外に発信している。

テレビ局の取材を翌日に控え、多忙な時でしたが快く工場内を見学させていただいた。魚、野菜、果物、ケーキ、麺類など数えきれない程の種類のサンプルが並んでいる。一瞬これがサンプル？と疑った。色、状、質感など本物としか思えない程の品々。見ていて実に しい。感動の連続だ。

《思わず口に入れてしまいそうなサンプル食品の数々》

そのひとつひとつが全て芸術品！

田中社長は「見た目の美味しさを表現して仕上げる。そ ために常に観察、研究を重ねている。魚ひとつに於いても を一枚いちまい手書きして光りかたの違う色を再現してい る」など制作の過程を語っていただいた。

新商品の開発、新技術の研究、開発など、ものづくりへ 熱い思いが伝わってきた。

（青柳和美記

会員募集　いっしょに夢づくり

川崎市内には、地域の宝を市内外に宣伝し来訪者を増やし地域の活性化を図るため多くの観光協会が設立されておりますが、宮前区内には観光協会がありませんでした。

宮前区には、名所遺跡・文化財・郷土芸能・地域産業など、地域の資源が豊富にあります。このようなことから、平成１９年に観光協会を設立し、地域における観光事業の振興を図り、郷土・文化の発展に向けて事業展開することにより、地域の皆様が誇りと愛着を持てる、活力あふれる宮前区を創造していきたいと考えております。

宮前区観光協会にご賛同いただき、ご入会いただける方は、下記事務局までご連絡願います。

会費（年額）は個人会員１口　1,000円
団体会員１口　5,000円
法人会員１口　10,000円

なお、会員様におかれましては、宮前区内特約店（８店）にてお買い物の際は、各種サービスを受けることができます。

申し込み先：宮前区役所地域振興課(塩田)
電話044（856）3135　FAX 044（856）3119

川崎市住宅相談登録店
高橋工務店
新築・リフォーム・エコハウス
住宅版エコポイント取扱店
お気軽にお電話下さい。
菅生2-21-12
TEL. 977-2348

生花
ギフトフラワー
ダンデライオン
土橋6-3-20-101
TEL. 877-6446

牛乳
森永宮前
ミルクセンター
蔵敷販売所
菅生5-3-8
TEL. 977-3646

こころ和むお花が揃う
竹水園
聖マリアンナ玄関前
菅生2-16-1
TEL. 976-3887
ギフトフラワー・フラワーアレンジメントお届けします。